

# H23年度、看護フェア開催レポート

H23年5月11日(水)、市立堺病院で看護フェアを開催しました。今年度は、「ずっと忘れられない看護がある」をテーマに、様々なアイデアを出し合っ、市民の方に楽しんでもらえて、心に残るようなフェアになるよう準備を進めてきました。フェア当日の様子や、参加された市民の感想などを報告したいと思います。

## ふれあい看護体験



4名の市民の方に、病棟での看護体験をしていただきました。産科病棟で赤ちゃんの沐浴や、内科病棟で患者さんへの足浴や洗髪などを、実際に行なっていただきました。その他にも車いすの移送体験・AEDの講習など、内容は盛りだくさんでした。この看護体験を通して、日頃の看護師の患者さんに対する想いや、専門職としての責任ややりがいなどを感じ取ってもらえたようです。



## 小児対象ブース

子どもたちと一緒にナースキャップを作成し、スタッフが作った“ちびっこ用白衣”を来ての写真撮影会です。自分で作ったキャップを被り、白衣を着て看護師になりきっていました。みんなとってもかわいい看護師さん。子どもたちもお母さんも、ニコニコとっても喜んでいました。

子どもたちの他にも、「一度ナース服を着てみたかった」と、病棟の患者さんが白衣に着替え、写真撮影。病室では見られないような笑顔が見られて、私たちも心が和みました。みなさんとってもよく似合っていて、本当の看護師みたいでしたよ。

## 成人対象ブース

1階で血圧測定を受けられた方が、たくさん足を運んでくださいました。ドキドキしながら身体測定・体脂肪測定をうけて、ショックを受けたりホッとしたり、参加者の方の色々な反応がありました。

フードコーナーでは、普段の食生活について栄養士さんから直々にアドバイスを受けられて、皆さんが食事を見直す良い機会になったのではないかと思います。フードモデルを使った栄養バランス測定は、食べ物の模型が本物の食べ物みたいで、選ぶのが楽しくとても人気でした。

乳癌の自己検診コーナーでは、乳癌を触知できる模型を使って、健診の正しい方法を紹介しました。女性の方は勿論、男性にも興味を持っていただけました。乳癌を経験された方で、「もう片方を守るために…」と言われていた方や、「娘にも教える」と言う方もおられました。このコーナーがきっかけで、市民の方の自己検診に対する意識が少しでも高まればいいなと思いました。



## 高齢者対象ブース



ここでは、高齢者の方と介護をされている方を対象に、口腔ケアのポイントや体位変換についてのアドバイスなどを行ないました。口腔ケアに関しては、歯科衛生士さんの協力もあり、丁寧なアドバイスを受けられた参加者の方が、「勉強になった。さっそく家で実践してみる」と、とても喜んでいただけたようでした。

体位変換のコーナーでは、褥瘡に関することや体位変換の必要性について理解してもらうことが出来ました。実際に人形を使って、介護者の負担にならない方法を体験してもらいました。楽な方法とそうでない方法を行なってもらい、違いを体感してもらうことでより理解してもらうことが出来ました。介護をする方が、らくらくと介護してもらうための手助けが出来たのではないかと思います。